

三次郷心会主催チャリティゴルフコンペ開催

9月15日(土)会員14名の参加で、郷心会主催のチャリティゴルフコンペを開催しました。当日は集合時間の8時には土砂降りの雨で、開催が危ぶまれましたが、スタート時には雨もやみ無事、開催することが出来ました。時に陽の差す蒸し暑い、また、グランドコンディションも悪い中ではありましたが、参加者の皆様はたのしくプレーされていました。

優勝は、平田 昭佳様、準優勝は伊宅林業土地建物の伊藤 清六様、ベストグロス(ベストスコア)賞はこれまた伊宅林業土地建物の伊藤 清六様、ニアピン賞は廣瀬 六則様、三次貨物運送(有)の細川 喜一郎様、広島銀行の坂田 英幸様、広島銀行の平本 靖様、ドラゴン賞には、東・西ともに フタミ精機(株)の永井 敏康様が見事獲得されました。

残念ながら今回参加を見送られた方も次回は是非、お誘いあわせの上、多数参加下さいますよう、よろしくお願い致します。

尚、賞品は、三次郷心会会員企業様からそれぞれ個別に購入させていただきました。



三次・庄原合同 サンフレッチェ広島 VS 鹿島アントラーズ 観戦会

9月1日(土)、サンフレッチェ観戦会を、過去に優勝経験豊富な鹿島アントラーズ戦を庄原と合同で実施しました。試合は先 3-1 で快勝。その時点では、2位と勝ち点差 9 をキープした試合。今回は、庄原から6名、三次からは25名の計31名の参加でした。

参加者の皆さんには、応援用のマフラータオルを手に応援。初めて参加された方から「サッカーの試合はよくわからないが、サンフレッチェが勝利したし、応援団の応援が楽しかった」とのコメントがありました。

帰路のバスでは、全日本代表候補に選ばれた青山選手のサイン入りユニフォームや練習ウェア、選手のサイン入りサッカーボールなどをじゃんけん大会でご提供させていただきました。

また、今回の観戦会の開催にあたりましては、(株)エイコーズ様には、じゃんけん大会の賞品のご提供をいただき、参加者の盛り上げに多大なご協力をいただきましたこと、ご報告させていただきます。

2018明治安田生命J1リーグ

Last Update: 2018/10/04									
順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	負	得点	失点	得失点差
1	川崎フロンターレ	56	28	17	5	6	44	21	23
2	サンフレッチェ広島	56	28	17	5	6	42	22	20
3	鹿島アントラーズ	45	28	13	6	9	42	34	8
4	北海道コンサドーレ札幌	44	27	12	8	7	37	39	-2
5	F C東京	43	28	12	7	9	34	27	7
6	浦和レッズ	41	28	11	8	9	40	29	11
7	セレッソ大阪	41	27	10	11	6	34	30	4
8	ベガルタ仙台	41	28	12	5	11	38	43	-5
9	清水エスパルス	37	28	11	4	13	40	40	0
10	ヴィッセル神戸	36	28	10	6	12	33	40	-7

(株)グラスワン様 マツダ工場見学

クルマのガラス販売・補修などを手掛ける(株)グラスワン様が、9月24日(月)、社員教育・親睦を兼ねて、マツダミュージアムを見学、竹本社長ほか24名が参加されました。

同ミュージアムは、宇品U1工場を見学コースとして使用しており、その他パネルによるマツダ(株)の歴史紹介や年代毎のマツダ車の展示、RE技術展示には'91ルマン優勝車、さらに車ができてからのデザイン、技術開発や生産技術などが紹介されています。

特に注目されたのが、U1工場のリアガラスのシールドロボットの動き。シールド材を均一に素早くリアガラスに塗布していくロボットの動きを注意深く見ておられました。



マツダ、電動化とコネクティビティの技術戦略を公表

—人間中心の「走る喜び」を追求し続け、「地球」・「社会」・「人」に貢献—

マツダ株式会社（以下、マツダ）は10月2日、クルマの電動化とコネクティビティの技術戦略を公表しました。その概要は以下の通り。

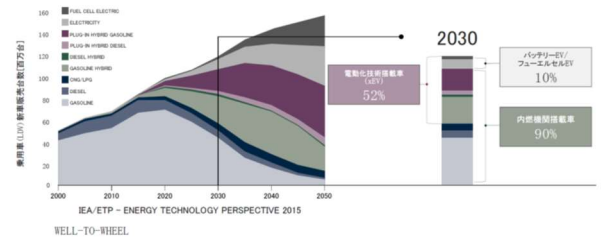
■ 電動化技術

将来においても内燃機関を磨き上げながら、小型軽量の電動化技術を展開し、CO₂排出量削減と「走る喜び」の進化を追求し続けてまいります。

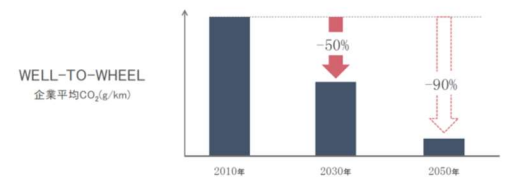
一方、自動車に関する規制のある地域に対しては、電気自動車も最適なソリューションとして導入してまいります。

- 「Well-to-Wheel（燃料採掘から車両走行まで）」視点で企業平均CO₂排出量を2050年までに2010年比90%削減することを視野に、2030年時点で生産するすべての車両に電動化技術を搭載。
- 2030年時点におけるマツダの電動化技術搭載車両の構成比は、電動化技術を搭載した内燃機関車が95%、電気自動車は5%を想定。
- 独自開発の電気自動車は、電気駆動ならではの利点をいかし、人間の特性や感覚を第一に考えたマツダならではの「人間中心」のアプローチで開発。
- 電気自動車は、バッテリーのみで駆動するEVと、これにマツダ独自の小型・軽量で静粛性に優れたR-レンジエンジン（以下、RE）を組み合わせ、バッテリーが一定レベルに減ると発電し航続距離を延ばす新開発のREレンジエクステンダーを搭載したEVを開発。REレンジエクステンダーは、共通のプラットフォームでも電動化技術のマルチソリューション化を可能とする将来構想をもとに開発。
- REレンジエクステンダーは、REと気体燃料との親和性をいかし、LPG（液化石油ガス）を利用した災害時における緊急給電も想定して開発。

将来においても大多数のクルマには内燃機関が搭載される



目標 WELL-TO-WHEELでの企業平均CO₂を、2010年比2030年で50%削減を目指す



■ コネクティビティ技術

「人間中心」の開発哲学にもとづき、クルマを通じた体験や感動の共有によって人・社会をつなげ、いつまでも人間らしい心豊かな「生きる喜び」が実感できるコネクティビティ技術を開発。「走る喜び」とともに、新たなクルマの価値として提案し、人と社会を元気にすることを目指します。

- コネクティビティ技術によって、人と人・社会をつなげることで、社会構造の変化にともなう、人と人とのつながりの希薄化などの社会的な課題解決へ貢献。
- EV開発と連携し製品開発に反映することで、品質とお客さま満足度をさらに向上。
- トヨタ自動車株式会社とのアライアンスを最大限に活用して開発。

郷心会事務局からのお知らせ

- 新会員 2 会員 ①土井建材(有) 土井 登志広 様、 ②個人会員 平田 昭佳 様
- 会員数 9 月末現在 207 会員

- 1、講習会および交流会のお知らせ
実施日: 2018年11月26日(月)
場所: グランラサーレ三次
① 講習会 17:00-17:50
内容: 原子力発電環境整備機構様による機構の取組ご紹介
② 交流会 18:00-18:30

●10月の送付資料にご案内を同封しています。

- 2、新会員ご紹介のお願い
10月の送付資料には、会員名簿を同封させていただきました。併せて、事務局より、会員の皆様に新会員ご紹介のご案内も同封しております。
三次郷心会の一層の活性化を進めるためにも、344会員を目指してまいります。皆様のご協力をお願い申し上げます。